

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進						掲載ページ		
							32		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		7,667	千円	9,672	千円	施策名	働き方の見直し	担当課	男女共同参画推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、市民や企業等に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催 ・従業員向け広報啓発や、父子ふれあい体験の実施などによる個人(家庭)に対する働きかけ ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業 								
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)			前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】	
	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催			3 回	3 回	3 回	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、本市におけるワーク・ライフ・バランスの推進施策について協議するとともに、啓発事業を実施します。 (最終目標と最終年度) -								
	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間参加者数			84,672 人	増加	91,067 人	順調	やや遅れ	順調
11月の推進キャンペーン期間に協賛事業として実施される学校開放週間への参加を促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進をPRします。 (最終目標と最終年度) -									

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、「ワーク・ライフ・バランス応援ソング」等を通じてPRを行うなど、活動状況は概ね予定どおり進みました。男女共同参画社会に関する調査(平成23年度)において、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」の認知度は64%と市民に浸透してきましたが、その「内容」について知らない人の割合が62.3%にのぼっており、さらに理解を進める必要があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的に、それぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
ワーク・ライフ・バランスという「言葉」や「内容」について、市民への一層の浸透を図るため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として関係機関との連携を図りながら、平成24年度も引き続き、推進キャンペーン等による広報啓発や企業の取組支援など、地域や個人(家庭)、企業等に積極的に働きかけていきます。